

問 通年観光めざした自転車による施策は

答 広域として積極的に取り組みを進めます



篠崎久美子議員

【観光について】

問 オールシーズン型観光への取り組みとして、自転車利用者の誘致策は。

村長 大きな可能性があると考えています。民間の動きも注視しながら広域としての取り組みを積極的に推進していきたいと思えます。

問 次年度から始まる国民の祝日「山の日」を契機とした山岳観光への取り組み予定は。

村長 29年度のディスプレイネーションキャンペーン(注)に向けた情報発信とあわせ、登山道整備、天狗山荘トイレ改修などに取り組みます。

問 オールシーズン型観光への取り組みとして、自転車利用者の誘致策は。

村長 平成28年度から実施していきます。

問 民泊について村内の状況は。

村長 実態把握につとめ、適正な利用についての指導等を行っていきたくと考えます。

問 観光税(仮称)の導入の可能性は。

村長 先進自治体を参考に、実情に応じた導入を広い視点から調査・研究していきたいと考えます。

【震災復興と災害時の体制について】

問 公営住宅計画内容と説明会開催の予定は。

村長 堀之内地区に7棟14戸、三日市場地区に2棟3戸、白馬町に1棟1戸分の計画です。被災者説明会は12月22日に行います。

問 農地の復旧状況は。来年度継続して被災農地への補償の考えは。

村長 農地は191工区中90工区47%が完了または着手中で、来春営農再開できるのは4〜5割と予想しています。補助金は状況に応じて検討します。

問 住宅修繕工事補助金の来年度への継続予定は。

村長 要望も聞いていますので予算編成の中で検討していきます。

問 災害時の福祉避難所の指定が必要では。

村長 緊急一時入所とあわせ、関係機関と検討していきたいと思えます。

問 災害時の役場庁舎の非常用電源の確保の状況は。

村長 昭和54年建設当時からディーゼルエンジン式自家発電装置があり、約3時間程度の運転が可能です。

【移動の支援について】

問 福祉輸送サービスの範囲を、大北圏域外に広げることへの検討は。

村長 ドライバーの拘束時間や車両や運転手確保等の課題もあり、検討していきま

問 移動のほかに代乗・代筆サービスの

村長 ある同行援護の提供状況は。

村長 村内にサービス提供事業所はなく、実態把握と適正利用の指導等をしていきたいと考えます。

問 1人での移動が困難な障がい者等のデマンドバス利用時の対応状況は。

村長 付添人の同乗を認めているほか、移動支援制度を併用して利用いただくことになります。

問 サービス利用者や希望者等の当事者の意見の反映が大事だが、状況は。



マウンテンバイク大会スタート

村長 自立支援サービス給付時には相談支援専門員による聞き取りでニーズ把握しています。移動サービスは国や県の動向にも留意していきます。

問 デマンドバス等の土日運行を検討しては。

健康福祉課長 土日休みが課題であることは承知しています。検討してまいります。

問 障がい者サービスガイドブックをホームページに掲載しては。

健康福祉課長 対応し、掲載します。